

第5次日田市総合計画策定に係る市民等意識調査結果の概要

市民等意識調査は、第5次日田市総合計画の策定にあたり、生活環境等に関する現状認識や今後の日田市のまちづくりに関する意識などを把握し、今後の計画づくりをより充実させていくための基礎資料とすることを目的に、市民意識調査として20歳以上の市民を対象に、高校生意識調査として高校2年生を対象に、職員意識調査として市職員を対象に実施した。

調査は平成17年11月から平成18年1月までの間に各々実施し、回収数は市民意識調査1,429名、高校生意識調査255名、職員意識調査668名であった。

なお、以下のまとめの中で【全体】とは市民意識調査、高校生意識調査、市職員意識調査とを合わせた結果であり、【市民】は市民意識調査のみ、【高校】は高校生意識調査のみ、【職員】は職員意識調査のみの結果である。また、「各地区」とは日田地区、天瀬地区、大山地区、前津江地区、中津江地区、上津江地区を表し、「前回調査」とは第四次日田市総合計画策定のために平成11年に実施した市民意識調査の結果を指すものである。

全体結果のまとめ

1. 日田市の生活環境についてどのように感じているか

日田市の生活環境に関する22項目について、満足度を5段階で評価してもらった。

1. 洪水、地滑り等の自然災害からの安全性 2. 道路の整備(歩道、舗装、改良等) 3. 子供の遊び場の整備状況(公園、広場等) 4. 文化施設の整備状況(図書館、博物館、ホール等) 5. 教育施設の整備状況(小・中学校、幼稚園等) 6. 高齢者福祉施設の整備状況(老人ホーム、ゲートボール場等) 7. 児童福祉施設(保育所、児童館等) 8. 障害者施設(通所授産施設等) 9. 医療施設の整備状況(救急病院、診療所等) 10. スポーツ施設の整備状況(体育館、運動場、プール等) 11. レクリエーション施設の整備状況(キャンプ場等) 12. 水道施設の整備状況(上水道、簡易水道等) 13. し尿処理施設の整備状況(下水道、合併浄化槽等) 14. ゴみの回収、処理状況 15. 防災施設の整備状況(消防、避難場所、防災無線等) 16. 緑の豊かさ 17. 河川のきれいさ 18. その他周辺的环境(空気の汚れ、騒音、振動、悪臭等) 19. 日常の買物の便利さ 20. バス、JR等の利用のしやすさ 21. 隣近所との付き合い 22. 青少年に対する社会環境・風紀

【全体】

満足度の高いものとして、「緑の豊かさ」が他の項目より突出して高い評価となっており、続いて「ゴミの回収、処理状況」、「水道施設の整備状況(上水道、簡易水道等)」の順となっている。一方、不満度の高い項目として、「バス・JR等の利用のしやすさ」、「子供の遊び場の整備状況」、「道路の整備」となっている。

【市民】

各地区とも「緑の豊かさ」の満足度が高く、以下、「隣近所のつきあい」、「ゴミの回収、処理状況」となっている。一方、不満度が高いものは、「子ども遊び場の整備状況」、「道路の整備」、「バス、J

R等の利用のしやすさ」の順となっている。また、「洪水、地滑り等の自然災害からの安全性」は旧郡部の不満度が高く、「医療施設の整備状況」は前津江地区で不満度が高い。

前回調査では、満足度の高い順に「緑の豊かさ」、「日常の買物の便利さ」、「隣近所とのつきあい」になっており、不満度は「道路の整備」、「子ども遊び場の整備状況」、「河川のきれいさ」の順となっている。今回の調査結果と比較すると、「日常の買物の便利さ」の満足度が低くなり、「河川のきれいさ」の不満度も低くなっている。

【高校】

「緑の豊かさ」の満足度が高く、以下「防災施設の整備状況」、「児童福祉施設」、「教育施設の整備状況」などはほぼ同じ評価となっている。一方、不満度が高いものは、「バス、JR等の利用のしやすさ」、「レクリエーション施設の整備状況」、「道路の整備」、「日常の買物の便利さ」の順となっている。

【職員】

「緑の豊かさ」が他の項目より突出して満足度が高い評価となっている。一方、不満度の高い項目として、「バス・JR等の利用のしやすさ」、「道路の整備」、「子供の遊び場の整備状況」となっている。

2. すべての項目を総合した場合の満足度は

日田市の生活環境を総合的に評価してもらった。

【市民】

総合評価では、満足 40.2%、不満足 17.8%と生活環境においては、満足している人が多い。

前回調査では、満足 46.2%、不満足 14.8%となっており、満足度が低下、不満度が上昇している。

【高校】

総合評価では、満足 40.8%、不満足 8.3%と生活環境においては、満足している人が多い。

【職員】

総合評価では、満足 41.8%、不満足 15.4%と生活環境においては、満足している人が多い。

また、どちらかといえば不満である、不満であるを選択した方の理由を尋ねた。

【市民】

「道路が狭い・悪い」、「交通の便が悪い」、「子どもが安全に遊べる場所・施設がない。子供達や高齢者の憩いの場がない」、「周辺部が取り残されている」、「公共交通機関（バス、JR）が悪い」などの理由が多くあった。

【高校】

「遊び場がない」、「店が少ない。専門店がない」、「道が悪い」などの理由が多くあった。

【職員】

「道が悪い、狭い。道路整備が遅れている」、「周辺部の整備が不十分。取り残されている。施設が中心部に集中している」、「全てにおいて不十分」などの理由が多くあった。

3. 今、日田市に不足しているものは

高校生に対し、今、日田市に不足しているものを7項目の中から1つ選んでもらった。

1. 働く場 2. 遊ぶ場 3. ショッピングの場 4. スポーツを楽しむ場や機会 5. 大学等高等教育機関 6. 生涯学習等、教養を学ぶ場 7. 文化に親しむ場や機会

【高校】

高校生にとって、今、日田市に不足しているものは「ショッピングの場」が27.4%、「遊ぶ場」が26.1%と多く、若者の余暇を過ごす場を望む意見が多い。

4. 将来、日田市に住みたいか

高校生に対し、将来、日田市に住みたいか、また、他に移りたい方はその地名、理由を尋ねた。

1. ずっと住みたい 2. 当面は住んでいたい 3. どちらともいえない 4. 他に移りたい

【高校】

「どちらともいえない」が51.0%と約半数占めるが、「ずっと住みたい」が4.3%、「当面は住んでいたい」が15.7%と合計で20.0%に対し、「他に移りたい」の28.8%を下回っている。

前回調査では、「ずっと住みたい」、「当面は住んでいたい」が19.1%、「他に移りたい」が35.7%となっており、「他に移りたい」は6.9%減少している。

また、他に移りたい方の希望先は「福岡」が回答者の約半数を占め、以下、「東京」、「大阪」、「都会」となっている。理由は、「都会のほうが便利・充実している」、「買い物の場所が多い」、「都会だから」などとなっている。

5. 日田市のなかで好きな場所やずっと変わらないでいて欲しい場所は

高校生に対し、日田市のなかで好きなもの・場所、またはずっと変わらないでいて欲しいもの・場所はどこか尋ねた。

【高校】

好きなもの・場所としては、「豆田町」、「河川・水」、「店舗」の順となっている。また、変わらないでいて欲しいもの・場所としては、「伝統的町並み、豆田町」、「自然」、「店舗」、「河川・水」の順となっている。

6. 日田市の都市イメージをどうとらえているか

日田市の都市イメージに関する 22 項目に関し、5 段階で評価してもらった。

1. 歴史・伝統が感じられるまちである 2. 水郷のまちである 3. 水源のまちである 4. 緑豊かな森林のまちである 5. 農業のまちである 6. 温泉のまちである 7. 観光のまちである 8. 都会的なまちである 9. 文化的なまちである 10. 教育に熱心なまちである 11. 個性的なまちである 12. 人情味が豊かなまちである 13. 明るく活気に満ちたまちである 14. 親しみを感じるまちである 15. 自然豊かでのどかなまちである 16. 住みやすいまちである 17. 閉鎖的なまちである 18. きれいなまちである 19. 健康的なまちである 20. 福祉に充実したまちである 21. 街づくり活動が盛んなまちである 22. 将来性豊かなまちである

【全体】

評価の高い上位 3 位は「緑豊かな森林のまちである」、「水郷のまちである」、「歴史・伝統が感じられるまちである」がいずれも高い評価となっている。一方、イメージ評価の低い項目の「都会的なまちである」は他の項目と比較し、著しく評価が低い。

【市民】

各地区とも「緑豊かな森林のまちである」、「水郷のまちである」、「歴史・伝統が感じられるまちである」がいずれも高い評価となっている。一方、イメージ評価の低い項目の「都会的なまちである」は他の項目と比較し、著しく評価が低い。また「農業のまちである」、「温泉の町である」は各地区の評価が分かれている。

合併により、今回の調査では前回調査の項目である「森林・田園のまちである」を「緑豊かな森林のまちである」と「農業のまちである」に分けたが、前回調査で 3 番目の高い評価を得ていた「森林・田園のまちである」が今回調査では「緑豊かな森林のまちである」が 1 番高い評価を得ている。前回評価で 1 番であった「歴史・伝統が感じられるまちである」は若干評価が落ちている。

【高校】

「歴史・伝統が感じられるまちである」が高い評価となっており、以下「水郷のまちである」、「緑豊かな森林のまちである」の順となっている。一方、イメージ評価の低い項目の「都会的なまちである」は他の項目と比較し、著しく評価が低い。

【職員】

「緑豊かな森林のまちである」、「水郷のまちである」、「歴史・伝統が感じられるまちである」が高い評価となっている。一方、イメージ評価の低い項目の「都会的なまちである」は他の項目と比較し、著しく評価が低い。

7. 日田市が今後力を入れる施策は

1) 道路整備や建物の建設などのハード施策

道路整備や建物の建設などのハード施策ハード施策に関して、28 項目のなかから優先項目を5つ選んでもらった。

1. 市道など生活道路の整備 2. 国道・県道など幹線道路の整備 3. 豆田・隈地区など歴史的町並みの整備 4. 区画整理など市街地の整備 5. 亀山公園など重要公園の整備 6. 身近な公園の整備 7. 市営住宅の整備 8. 上水道など水道施設の整備 9. 下水道など污水处理施設の整備 10. 河川環境の整備 11. 老人ホームなど高齢者福祉施設の整備・支援 12. 通所授産施設など障害者福祉施設への支援 13. 保育園、児童館など児童福祉施設の整備・支援 14. 保健・医療施設の整備・支援 15. 幼稚園・小中学校施設の整備 16. 大学など高等教育機関の設置 17. 美術館などの文化施設の整備 18. スポーツ・レクリエーション施設の整備 19. 史跡・文化財などの保存 20. 集会所、公民館などの地域施設の整備・支援 21. バスなどの公共交通機関の整備・支援 22. 避難所などの防災施設の整備 23. 交通安全施設の整備 24. 中心商店街の整備・支援 25. 観光関連施設の整備・支援 26. 温泉施設・資源の整備 27. 農業施設への支援 28. 林業施設への支援

【市民】

要求の高い項目は「老人ホームなど高齢者福祉施設の整備・支援」、「市道など生活道路の整備」、「バスなどの公共交通機関の整備・支援」の順となっており、「国道・県道など幹線道路の整備」は日田地区、天瀬地区を除く4地区で、「農業施設への支援」は前津江地区、上津江地区で要求が高い。

前回調査は今回と同様に「老人ホームなど高齢者福祉施設の整備・支援」が一番の要求であり、前回10位までになっていない「バスなどの公共交通機関の整備・支援」が高い要求となっている。

【職員】

要求の高い項目は「市道など生活道路の整備」、「国道・県道など幹線道路の整備」、「バスなどの公共交通機関の整備・支援」の順となっている。

2) 制度との充実などソフト施策

制度との充実などソフト施策に関して、22 項目のなかから優先項目を5つ選んでもらった。

1. 農業の振興 2. 林業の振興 3. 商業の振興 4. 工業の振興 5. 観光の振興 6. 高齢者福祉対策の充実 7. 少子化、児童福祉対策の充実 8. 障がい者福祉対策の充実 9. その他の福祉対策の充実 10. 青少年の健全育成 11. 学校教育の充実 12. 社会教育(生涯学習)の充実 13. 芸術・文化の振興と推進 14. 地域の民謡や木工技術など、伝統的な生活文化の振興 15. 体育・スポーツの振興 16. まちづくり団体の育成・活動助成 17. 環境対策の推進 18. 市の行財政改革の推進 19. 情報化時代対応策の推進 20. 国際交流の推進 21. 周辺部の振興 22. 近隣の市町村などとの交流・連携の推進

【市民】

要求の高い項目は「高齢者福祉対策の充実」、「少子化、児童福祉対策の充実」、「青少年の健全育成」の順となっている。「農業の振興」は日田地区以外は1番目か2番目の要求となっており、「林業の振興」は日田地区、大山地区以外で、「青少年の健全育成」は日田地区、大山地区で、「市の行財政改革の推進」は日田地区で要求が高い。

前回調査は今回と同様に「高齢者福祉対策の充実」が一番の要求であり、前回7番目であった「少子化、児童福祉対策の充実」は順位をあげている。

【職員】

要求の高い項目は「少子化、児童福祉対策の充実」、「農業の振興」、「林業の振興」の順となっている。

8. 日田市のさまざまな施策に関する意識は

想定されるさまざまな施策に関し、相反する意見の中から全体的にどうとらえるか尋ねた。

事業は財政状況が厳しくても地域振興のため、積極的に推進すべきであり、必要なら借金もやむを得ない	事業は常に長期的な財政状況を考慮のうえ実施し、必要なら、事業の縮小・延期などもやむを得ない
豊かさの価値観は経済の発展など物的・経済的な豊かさに求めるべきである	豊かさの価値観は人と人とのふれあいなど精神的な豊かさに求めるべきである
福祉政策は、行政主導で実施されるべきものであり、行政の責任において福祉の充実を図っていくべきである	福祉政策の中で市民・地域が主体となって実施するべきものは、市民・地域の責任において推進を図るべきである
商店街の活性化は行政の積極的な支援のもとで行うべきである	商店街の活性化は商店街自らの努力で行うべきである
日田市は観光の振興にもっと力を入れるべきである	日田市の観光の振興は、現在の取り組みで充分である
今後の地域振興は自給自足を前提とした農業を基本とするべきである	今後の地域振興は企業誘致などを前提とした商工業を基本とするべきである
森林は広葉樹の植林を促進し、多様性のある森林づくりに努めるべきである	森林は従来通り杉、檜を中心とする経済林としての形態を維持するべきである
まちづくりは、自然災害に強い建築物を建てるなど、機能性を重視するべきである	まちづくりは、周辺と調和するなど、景観を優先するべきである
市内の道路整備については、未だ不十分のため、引き続き推進するべきである	市内の道路はほぼ整備されつつあり、今後は維持管理に努めるべきである
豆田・隈の町並みは歴史的価値もあり観光の振興とも併せて今後も推進するべきである	豆田・隈の歴史的町並みの整備は現状程度でよい
上流地域の清流及び三隈川は「水郷ひた」のシンボルなので、積極的に環境整備に努めるべきである	上流地域の清流及び三隈川の環境整備は現状程度でよい
公園や街路樹などの緑については、積極的に増やしていくべきである	公園や街路樹などの緑については、現状で充分である
伝統の保存や芸術鑑賞、文化活動の支援などの文化施策は、市の財政にゆとりが無い時は後回しにするべきである	伝統の保存や芸術鑑賞、文化活動の支援などの文化施策は、市の財政にゆとりが無い時でも積極的に取り組まなければならない
学校教育については、個性を尊重した心の教育の推進を図るべきである	学校教育については、学力重視の教育を推進するべきである
大学などの設置には相当の費用が伴っても推進するべきである	少子化が進むなかで大学などの設置は困難である
高齢者や病気の人などのためにバスなどの公共交通は、多額の費用が生じて市が直接あるいは補助してバス等を運行するべきである	高齢者や病気の人など、自転車等を運転できない方に対しては、その家族や近所の方々が移動の手段を確保するべきである

【全体】

過半数以上の意見として、「財政状況を考慮のうえ、事業の縮小等やむを得ない」、「豊かさは物の豊かさに求めるのではなく、心の豊かさに求めるべき」、「商店街の活性化は商店街が自助努力すべき」、「森林は広葉樹の植林を促進する」、「市内道路の整備は引き続き推進すべき」、「上流地域の清流や三隈川は積極的に環境整備すべき」、「公園や街路樹の緑化は積極的に進めるべき」、「学校教育は学力重視でなく、個性を尊重した心の教育を図るべき」、「公共交通対策は行政が進めるべき」の9項目である。

【市民】

過半数以上の意見として、「財政状況を考慮のうえ、事業の縮小等やむを得ない」、「豊かさは物の豊かさに求めるのではなく、心の豊かさに求めるべき」、「森林は広葉樹の植林を促進する」、「市内の道路整備は引き続き推進すべき」、「上流地域の清流や三隈川は積極的に環境整備すべき」、「公園や街路樹の緑化は積極的に進めるべき」、「学校教育は学力重視でなく、個性を尊重した心の教育を図るべき」、「公共交通対策は行政が進めるべき」の8項目である。

前回調査と比較し、今回の調査では「広葉樹植林」が12.1%増え、「商店街は自助努力すべき」

が8.6%増えた。

【高校】

過半数以上の意見として、「観光振興にもっと力を入れるべき」、「上流地域の清流や三隈川は積極的に環境整備すべき」、「公園や街路樹の緑化は積極的に進めるべき」、「公共交通対策は行政が進めるべき」の4項目である。

【職員】

過半数以上の意見として、「財政状況を考慮のうえ、事業の縮小等やむを得ない」、「豊かさは物の豊かさに求めるのではなく、心の豊かさに求めるべき」、「商店街の活性化は商店街が自助努力すべき」、「森林は広葉樹の植林を促進する」、「市内道路の整備は引き続き推進すべき」、「上流地域の清流や三隈川は積極的に環境整備すべき」、「公園や街路樹の緑化は積極的に進めるべき」、「少子化が進む中で大学等の設置は困難」、「公共交通対策は行政が進めるべき」の9項目である。

9. 今後、日田市はどのようなまちづくりを進めるべきか

高校生に対し、今後、日田市はどのようなまちづくりを進めるべきか尋ねた。

【高校】

「自然の保護や水・緑を貴重とした環境保護」、「大型商業施設の誘致」、「駅周辺の活性化、商店街の発展による中心部の活性化」に対する意見が多い。

10. 国際化に関する意見は

国際化に関する対応策の意見を9項目の中から2つ選んでもらった。

1. 大人を対象とした海外研修
2. 青少年を対象とした海外研修
3. 外国との姉妹都市提携・交流
4. 交換留学生などの受入れや派遣
5. 国際的な催しやイベント開催
6. 文化・スポーツ交流
7. 外国語講座などの充実
8. 外国人教師の充実
9. 在住外国人との交流

【全体】

最も高い比率は「青少年を対象とした海外研修」の47.7%であり、続いて「文化・スポーツ交流」31.0%、「交換留学生などの受入れや派遣」27.4%となっている。

【市民】

最も高い比率は「青少年を対象とした海外研修」48.1%であり、続いて「文化・スポーツ交流」29.7%、「交換留学生などの受入れや派遣」26.4%となっている。

前回調査では、今回と同様に「青少年を対象とした海外研修」45.4%が最も高い比率を示し、以下「交換留学生などの受入れや派遣」29.2%、「国際的な催しやイベント開催」26.4%の順となっている。

【高校】

最も高い比率は「文化・スポーツ交流」44.2%、「青少年を対象とした海外研修」42.2%と、他の項目と比較し高い意見となっている。

【職員】

最も高い比率は「青少年を対象とした海外研修」（48.9%）であり、続いて「交換留学生などの受

入れや派遣」（29.7%）、「文化・スポーツ交流」（28.5%）、となっておる。

11. 環境問題のなかで日田市で重要と思われるものは

環境問題に関する8項目の中から、重要と思われるものを2つ選んでもらった。

1. 工場の倍煙や自動車の排気ガスなどによる大気汚染 2. 生活雑排水や工業排水などによる水質汚濁 3. 電気・ガス・ガソリンなどのエネルギーや資源の消費 4. 大量に排出されるゴミの処分の問題 5. 風力や太陽光などの新エネルギーの活用 6. ゴミの不法投棄やタバコ・空き缶のポイ捨てなどマナーの問題 7. 森林保全による二酸化炭素の抑制や水源の確保 8. リサイクルを推進するための社会基盤の整備

【全体】

関心の高い項目は「不法投棄やポイ捨てなどマナーの問題」41.8%であり、他と比較し高い関心がある。また、今回新エネルギーの観点で新たに追加した「風力や太陽光などの新エネルギーの活用」が29.9%と2番目の関心を示している。

【市民】

関心の高い項目は「不法投棄やポイ捨てなどマナーの問題」43.1%であり、他と比較し高い関心がある。また、今回新エネルギーの観点で新たに追加した「風力や太陽光などの新エネルギーの活用」が31.1%と2番目の関心を示している。前回調査でも「不法投棄やポイ捨てなどマナーの問題」が最も高い関心を示しており、今回は前回に比較し4.3%（市民）上昇している。

12. 環境問題に関し、今後の取り組みについては

環境問題への今後の取り組みに関して、5項目の中から1つ選んでもらった。

1. 条例等による規制の強化あるいは環境保護の助成制度を充実するなどして、環境先進都市を目指すべきである 2. 国の指導の下で、全国の市町村と同程度の取り組みを行っていくべきである 3. 元々環境の良いところなので、必要最小限の取り組みを行えばよい 4. 他にも重要な問題があり、特に環境問題に力を入れる必要はない 5. 分からない

【全体】

今後の取組みとして「環境先進都市を目指す」が52.6%と半数を占めている。また、前回調査でも同様の結果となっている。

【市民】

今後の取組みとして「環境先進都市を目指す」が49.7%と半数を占めている。

【高校】

今後の取組みとして「環境先進都市を目指す」が39.6%と高い比率を占めている。

【職員】

今後の取組みとして「環境先進都市を目指す」が63.5%と半数を占めている。

13. 今後の地域間交流の望ましいかたちは

今後の地域間交流の望ましいかたちに関して、9項目の中から2つ選んでもらった。

1. 日田・玖珠広域圏を基盤とした広域連携を強化する
2. 中津市、宇佐市など、県北の市町村などとの交流・連携を進める
3. 大分市、別府市など、県中央の市町村などとの交流・連携を進める
4. 浮羽市、久留米市など、筑後川を軸とした流域の市町村などとの交流・連携を進める
5. 菊池市、浮羽市、中津市など隣接する市町村などとの交流・連携を進める
6. 福岡市、北九州市など、大都市との交流を進め、観光客などの増大を図る
7. 祭りやイベントなどを積極的に開催し、不特定多数の地域との交流を進める
8. 他の市町村と姉妹都市を結び交流を図る

【全体】

市民、高校生、職員それぞれの調査によって、結果が異なっていた。全体集計では「大都市との交流を進め、観光客などの増大」が43.5%、「筑後川を軸とした流域の市町村などとの交流・連携」が41.2%、「日田・玖珠広域圏を基盤とした広域連携の強化」が38.5%となっている。

【市民】

「日田・玖珠広域圏を基盤とした広域連携の強化」が44.8%、筑後川を軸とした流域の市町村などとの交流・連携」が39.1%、「大都市との交流を進め、観光客などの増大」が38.4%となっている。

前回調査では、「大都市との交流を進め、観光客などの増大」43.0%、「筑後川を軸とした流域の市町村などとの交流・連携」36.3%、「日田・玖珠広域圏を基盤とした広域連携の強化」35.7%の順となっている。

【高校】

「不特定多数の地域との交流」が52.0%と全体の半数を超え高い比率となっており、「大都市との交流を進め、観光客などの増大」が34.5%、「日田・玖珠広域圏を基盤とした広域連携の強化」が31.7%の順となっている。

【職員】

最も多い意見は、「大都市との交流を進め、観光客などの増大」が57.3%、「筑後川を軸とした流域の市町村などとの交流・連携」が52.6%とともに過半数の意見であり、他の項目と大きな差があった。

14. 今後の文化施策の方向性は

今後の文化施策の方向性に関して、13項目の中から4つ選んでもらった。

1. 公演や展覧会などを多く鑑賞すること
2. 文化事業に対する事業所からの支援
3. 文化施設の充実
4. 棚田や街並みなど、生活の中の景観を守ること
5. 児童や生徒が、文化活動に参加したり、鑑賞したりすること
6. 文化を通じた地域間交流
7. 伝統芸能(民謡、神楽など)や、伝統技術(陶芸、木工、漁法など)の後継者が育つこと
8. 文化団体やサークル活動を活発に行うこと
9. 歴史的な文化財や町並みを保存、継承すること
10. 情報の発信や収集
11. 公演や展覧会事業を支えるボランティア制度が充実すること
12. 食や方言など、地域の特色ある生活様式の奨励
13. 年齢や、障害の有無、住んでいる地域等に関係なく、全て市民が等しく文化に接したり活動したりできること

【全体】

今後の方向性として「全て市民が等しく文化に接する活動」が49.7%とほぼ半数を占め、以下「伝統芸能や伝統技術の後継者が育成」が45.2%、「歴史的な文化財や町並みを保存、継承」が43.7%、

「児童や生徒が、文化活動に参加・鑑賞」が42.9%の順となっている。

【市民】

今後の方向性として「全て市民が等しく文化に接する活動」が55.8%と過半数を占め、以下「伝統芸能や伝統技術の後継者が育成」が45.9%、「歴史的な文化財や町並みを保存、継承」が45.5%、「児童や生徒が、文化活動に参加・鑑賞」が42.4%の順となっている。

【高校】

今後の方向性として「歴史的な文化財や町並みを保存、継承」が47.0%と高い比率を占め、以下「全て市民が等しく文化に接する活動」が36.7%、「児童や生徒が、文化活動に参加・鑑賞」が34.3%の順となっている。

【職員】

今後の方向性として「伝統芸能や伝統技術の後継者が育成」が49.8%とほぼ半数の意見があり、以下「児童や生徒が、文化活動に参加・鑑賞」が47.1%、「全て市民が等しく文化に接する活動」が42.2%の順となっている。

15. 日田市総合計画の認知度は

職員に対し、市の最上位計画である「日田市総合計画」を知っているか尋ねた

1. 前から知っていた 2. 最近知った 3. 知らなかった

【職員】

「認知している」方は94.6%いたが、不明も含め「知らなかった」方が5.3%存在している。

前回調査では、不明も含め「知らなかった」方が10.2%存在しており、その数は減少している。

16. 現在の市役所や振興局に対する印象は

現在の市役所と振興局に対する印象を14項目に分け、5段階で評価をしてもらった。

1. 気軽に市役所へ行ける 2. 窓口・利用したい課・係が分かりやすい 3. 職員の対応が良い 4. 職員が多く感じる 5. 申請などの手続きがむずかしい 6. 事務処理に時間がかかる 7. 効率的に税が使われている 8. 市の施設は利用しやすい 9. 広報やホームページで市政がよくわかる 10. 知りたい情報が手軽に入手できる 11. 市民の意見が市政に反映されている 12. 計画的に町づくりを行っている 13. 積極的に職員が地域活動に参加している 14. 全体的に市の行政に満足している

【市民】

肯定的な意見（そう思う）として「職員が多く感じる」が多いが、「気軽に市役所へ行ける」、「窓口・利用したい課・係がわかりやすい」、「職員の対応が良い」と好感的な意見も多い。一方、否定的な意見（そう思わない）として、「市民の意見が市政に反映されている」、「効率的に税が使われている」、「積極的に職員が地域活動に参加している」の順となっている。

前回調査でも今回調査と同様の結果となっている。

17. 現在の市役所や振興局からの住民サービスは

現在の市役所と振興局からの住民サービスについて、評価をしてもらった。

1. 満足 2. わからない 3. 不満

【市民】

「不満」が 12.5%、「満足」が 9.9%をやや上回る結果となっているが、3人に2人が「わからない」との回答となっている。

また、「不満」や「満足」の理由を尋ねた。

「職員は不誠実。あいさつがない。無愛想」、「挨拶等良くない。応対も見下したような点がある」、「広報が足りない。効率的な情報発信がなされていない」など不満の意見が多い一方、「親切丁寧な対応をしてくれる」、「広報等充実して良い」などの満足する意見もある。

18. 市役所や振興局をもっと利用しやすくするためには

市役所や振興局をもっとわかりやすく、また利用しやすくするために、今後どのようにすれば良いか意見を求めた。

【市民】

市職員の市民への対応が悪い、指導力や知識が足りないことなどに対し、市職員の資質向上を図るため、職員教育を求めるものが一番多く、次に広報広聴活動の充実、さらには、市役所や振興局の役割や仕事内容の周知、休日等の窓口の開放を求める声が多かった。

【職員】

上位の意見として、「ホームページの充実。ホームページ、広報誌等を活用し、市民へ情報の提供」、「職員の意識改革、接遇マナーの向上が必要」、「業務内容を広報等で知らせる。振興局業務を知らせる」、「幅広く市民の声を聞く。交流や対話する機会を増やす」、「振興局に決定権を持たせる。権限移譲を」、「休日、時間外の開庁し、住民票等の発行。自動交付機の設置」の順となっている。

19. 日田市に不足しているものは

職員に対し、他市と比較し、日田市に不足しているもの、今後積極的に進めるものを尋ねた。

【職員】

上位の意見として、「若者の就労の場。企業誘致」、「大型商業施設」、「商店街の活性化」、「市民の自発的活動の促進。住民主導のまちづくり。人材の育成」、「観光の振興、観光施設の整備」の順となっている。

20. 日田市の施策に関する関心度は

日田市の施策に関する関心度を5段階で評価をもらった。

1. とても関心がある 2. やや関心がある 3. どちらともいえない 4. あまり関心がない 5. 関心がない

【市民】

「やや関心がある」人が37.4%と最も多く、「とても関心がある」15.8%と合わせ、関心を示す方は53.2%と半数を占めている。一方、関心を示していない方は14.6%となっている。

前回調査では、関心を示す方52.6%、関心を示さない方21.9%となっており、無関心層が若干減少している。

21. 社会活動への参加状況は

社会活動への参加について尋ねた。

1. 参加している 2. 参加していない

【市民】

社会参加の状況は、「参加している」方が53.5%と全体の半数以上、何らかの社会参加をしている。

前回調査では、全体の45.6%の方が何らかの形で社会参加しており、社会参加率は上昇している。

【職員】

社会参加の状況は、全体の74.0%の方が何らかの形で社会参加している。

また、参加している方にその活動内容について尋ねた。

1. 自治会・町内会（集落） 2. PTA・育友会 3. 消防団 4. 青年会・婦人会・老人クラブ 5. 農業関係の団体 6. 林業関係の団体 7. 商工業関連の団体 8. ボランティアなどの奉仕活動 9. スポーツクラブ等の団体 10. 消費者運動や市民運動 NPOの団体 11. 文化・趣味等のクラブ・団体 12. 環境美化活動 13. 町おこし、まちづくり活動

【市民】

活動内容の上位は「自治会・町内会（集落）」が63.3%と一番多く、「青年会・婦人会・老人クラブ」が31.7%、「文化・趣味等のクラブ・団体」が27.2%となっており、コミュニティ活動が中心となっている。前回調査と比較し、今回4番目の「ボランティアなどの奉仕活動」は、前回調査より8.4%と高い伸びを示している。

【職員】

活動内容の上位は「自治会・町内会（集落）」が68.6%と一番多く、「スポーツクラブ等の団体」が46.2%、「文化・趣味等のクラブ・団体」が28.1%となっている。

22. 今後参加を希望する社会活動は

今後参加を希望する社会活動について複数回答を可として尋ねた。

1. 自治会・町内会（集落） 2. P T A・育友会 3. 消防団 4. 青年会・婦人会・老人クラブ 5. 農業関係の団体 6. 林業関係の団体 7. 商工業関連の団体 8. ボランティアなどの奉仕活動 9. スポーツクラブ等の団体 10. 消費者運動や市民運動、N P Oの団体 11. 文化・趣味等のクラブ・団体 12. 環境美化活動 13. 町おこし、まちづくり活動 14. どれにも参加しない

【市民】

今後の参加希望活動の上位は「自治会・町内会（集落）」、「文化・趣味等のクラブ・団体」、「ボランティアなどの奉仕活動」の順となっており、現在の活動状況と比較したとき、「ボランティアなどの奉仕活動」、「環境美化活動」、「まちおこし、まちづくり活動」が上位に来ている。

【職員】

今後の参加希望活動の上位は「文化・趣味等のクラブ・団体」、「ボランティアなどの奉仕活動」、「スポーツクラブ等の団体」の順となっており、現在の活動状況と比較したとき、「ボランティアなどの奉仕活動」が上位に来ている。

23. 「市民」と「行政」が協力してまちづくりを進めるためには

「市民」と「行政」が協力してまちづくりを進める方法に関して、9項目の中から2つ選んでもらった。

1. まちづくりの計画段階から、協議会などにより多くの市民参画を図るべきである 2. 情報公開を進めるなど、市民への情報提供に努めるべきである 3. 市民活動・街づくり団体の育成などに行政支援を行うべきである 4. 街づくり勉強会などを行政が主体となって行うべきである 5. これまで以上に市民の意見を聞く機会を増やすべきである 6. いろいろな団体が協力してまちづくりを進めるべきである 7. 市民一人ひとりが責任を持ってまちづくりを進めるべきである 8. 市職員が地域のまちづくりをリードできるよう資質の向上を図るべきである 9. 町づくりをリードする市民の人材の育成機会を増やすべきである

【市民】

30%を超えるものは「計画段階から多くの市民参画を図るべき」が 34.3%、「市民への情報提供に努めるべき」が 33.3%、「市民の意見を聞く機会を増やすべき」が 32.9%と、市民と行政の共同参画に対する3項目であり、他の個目と10%以上の差があった。

前回調査では、「市民への情報提供に努めるべき」が 44.1%でトップであるが、今回調査では 9.8%減少しており、情報提供は進んでいると見られる。

24. 行政改革の方向性は

行政改革の方向性について、8項目の中から2つ選んでもらった。

1. 事務・事業の合理化や効率化を図り、職員の増員はしない 2. 市民サービスの優先を考えると、職員の増員もやむを得ない 3. 市の仕事の中で、民間に委託することが、経費を安く抑えられ、かつ市民サービスの低下をきたさないものであれば民間委託してもよい 4. 責任問題を考えると、安易に民間委託をすべきではない 5. 市単独費用での大きな土木、建築事業はできるだけ抑え、国、県から補助が受けられる事業を優先して実施する 6. 行政サービスの見直しを図り、縮小の方向で再検討する 7. 市民が出来る仕事は市民が自主的に行って、少しでも経費の節減を図る 8. 市が行っている各種事業の手数料や公共施設の使用料を有料化するか、引き上げる

【市民】

「事務・事業の合理化等を図り、職員の増員はしない」が57.2%と全項目の中で唯一半数を超えた意見となっており、「民間に委託で効果があれば民間委託してもよい」が46.9%と比較的高い比率を示しており、他の項目との差が大きい。

前回調査でも今回と同様の結果となっている。

【職員】

30%を超えるものは「計画段階から多くの市民参画を図るべき」が45.4%、「市民の人材の育成機会を増やすべき」が30.1%の2項目であり、市民意識調査結果と比較すると市民と職員の情報提供、意見聴取について、とらえかたの相違がある。

25. 行政改革の進め方は

職員に対し、行政改革の進め方について、それぞれ項目の中からどちらかを選んでもらった

行政改革について、これまで積極的に推進してきたため、ほぼ目的は達成されている	きびしい社会情勢のなか、行政改革は今後も積極的に推進すべき
行政改革は職員一人ひとりの自発的な取組みを基本に進めるべき	行政改革は市長をはじめ、担当機関による強いリーダーシップのもとで進めるべき
組織・機構については現在の体制で十分である	組織・機構については縦割行政の弊害がでないよう、横断的な組織づくり等に積極的に努めるべき
事務・事業の合理化や効率化を図り、職員の増員はすべきでない	市民サービスの優先を考えると、職員の増員もやむを得ない
民間でできることは民間で。との考えで、市の仕事の中で、経費や市民サービスの低下に留意し、民間委託を進めるべき	責任問題を考えると、民間委託をすべきではない

【職員】

行政改革に関しては、「積極的に推進すべき」が82.4%、「職員一人ひとりの自発的な取組み」が56.4%、「横断的な組織づくり」が88.1%、「サービス優先で、職員増員もやむを得ない」が52.0%、「民間委託を進めるべき」が60.8%の意見の比率が高くなっており、職員増員に関する項目については市民意識調査と異なる結果となっている。

26. 職員の資質や政策形成能力の向上、横断的な組織づくり等を進めるためには

職員に対し、職員の資質や政策形成能力の向上、横断的な組織づくり等を進めるために何が必要か自由な意見を求めた。

【職員】

「政策形成能力・専門研修・職員意識改革・先進事例収集のための職員研修の実施・充実・見直し」が他の項目と比較し断然多く、以下「接遇能力向上・コスト意識・民間の厳しさを知るための民間企業派遣研修の実施」、「職員提案制度の充実」、「プロジェクトチーム制度の活用」、「横断的な組織体制、機構改革」の順となっている。

27. 今後の日田市の将来像は

今後の日田市の将来像(キャッチフレーズ)について尋ねた。

【市民】

キーとなる言葉として、「自然、自然に満ちた、うつくしい自然、自然豊か、恵まれた自然環境、自然あふれる」、「緑、森林、森林育成」、「活き活き、活力、活気、いきいき」、「安心」、「水、きれいな水、水源」、「笑顔、明るい笑顔」の順となっており、新市建設計画の将来都市像を変更する必要はないとの意見は4番目であった。

【職員】

新市建設計画の将来都市像を変更する必要はないとの意見がトップであり、続いて、キーとなる言葉として、「自然、自然に満ちた、うつくしい自然、自然豊か、恵まれた自然環境、自然あふれる」、「住みやすい、住んでいる、住む、暮らす、暮らせる、生活、住みよい」、「緑、森林、森林育成」、「文化、文化薫る、文化香る」、「人」、「活き活き、活力、活気、いきいき」の順となっている。

28. 自由意見

これからの日田市を良くするため、自由意見を求めた。

【市民】

多種多様な意見をいただいたが、多くの意見として「自然保護や緑を増やす、川の水をきれいにする、河川環境の整備、ごみをなくすなど自然・環境保護に努めてほしい」、「企業誘致や大型商業施設の設置、イベント・祭りの開催による若者の定住を進めてほしい」、「市職員の資質向上や接遇の改善などを求める、市職員のあり方についての意見」などである。

【高校】

多くの意見として「自然保護やごみを捨てない、ごみをなくすなど環境保護に努めてほしい」、「商店街の活性化や遊ぶ場を増やす、イベント・祭りの開催による市・まちの活性化を進めてほしい」、「スポーツ施設や図書館等文化施設の整備・充実を行って欲しい」などである。

【職員】

多くの意見として「様々な活動等に積極的に参加し参加しあえる場づくりや住民の参画、市民主

体のまちづくりへ、住民が意見を気軽に発言できる環境の整備など、行政運営に関する意見」、「企業誘致による就業の場の確保や大学誘致などの定住、若者対策、IJU ターン者対策に関する意見」、「笑顔で対応や職員の資質向上、意識改革が必要とする市職員の姿勢に関する意見」であった。